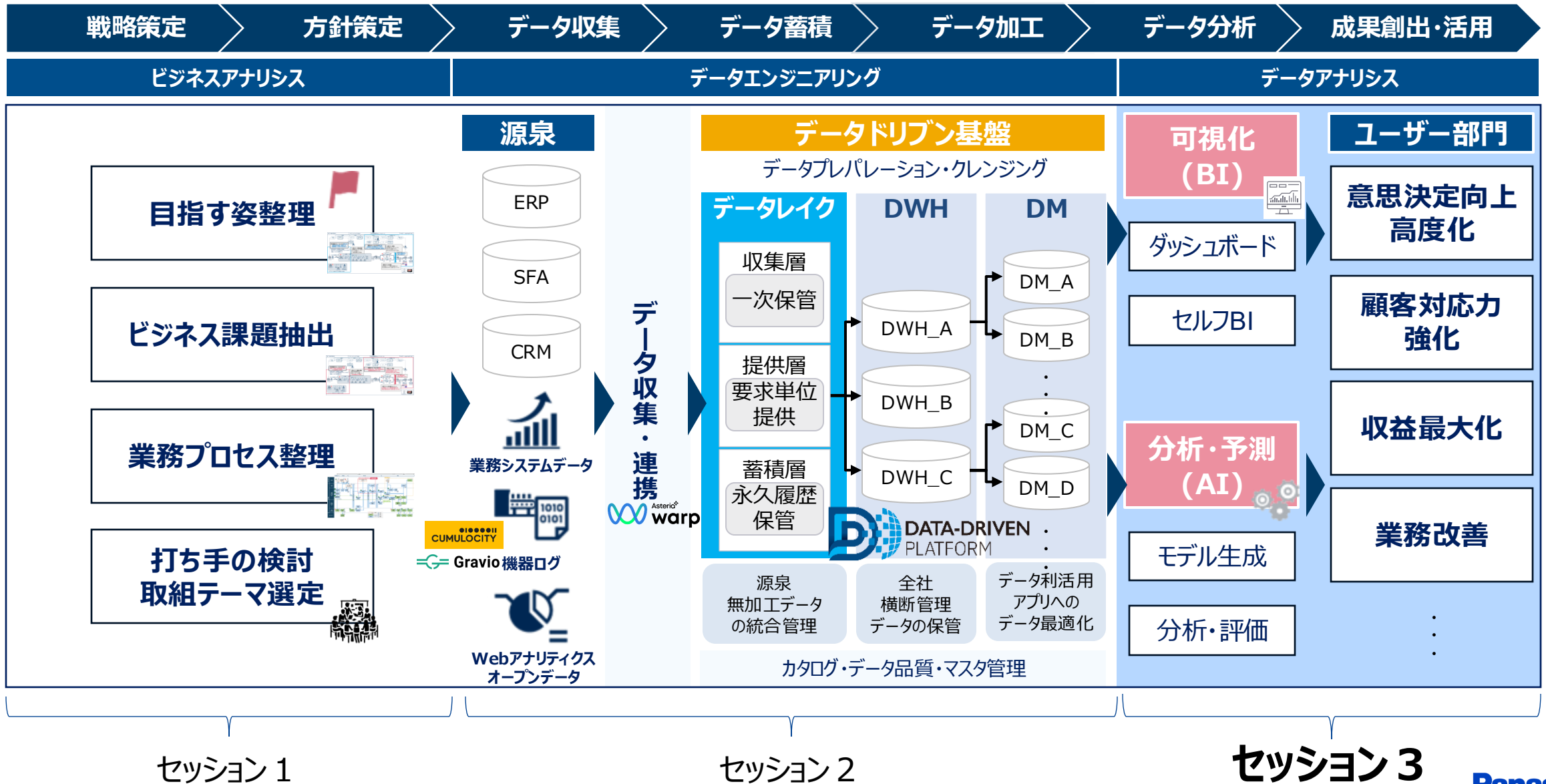


**現場と経営をつなぐ！  
BI・AI活用と「自走化」戦略  
～DataVein～**

2026年2月25日

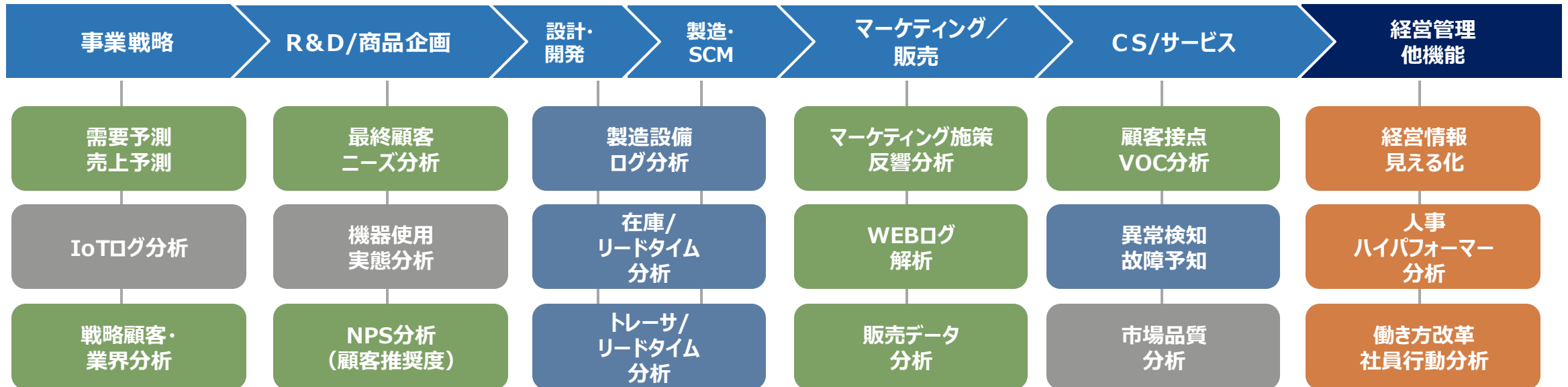
パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社  
データ&アナリティクスソリューション本部 アナリティクスソリューション事業部  
黄地 綾子、土屋 昌宏





# 1.データを「価値」に変えるための活用戦略

<p>経営管理</p> <p>経営指標の可視化・分析</p>	<p>マーケティング・セールス</p> <p>Web・メディア分析</p>	<p>製造・SCM</p> <p>工場・設備稼働分析 (品質解析・異常検知)</p>	<p>カスタマーサポート</p> <p>機器ログ、問い合わせ履歴分析</p>
<p>10テンプレート 200事例</p>	<p>10テンプレート 100事例</p>	<p>7テンプレート 20事例</p>	<p>5テンプレート 10事例</p>



## 「分析と意思決定の一体化」による、データドリブン経営の加速

従来のデータ分析・活用



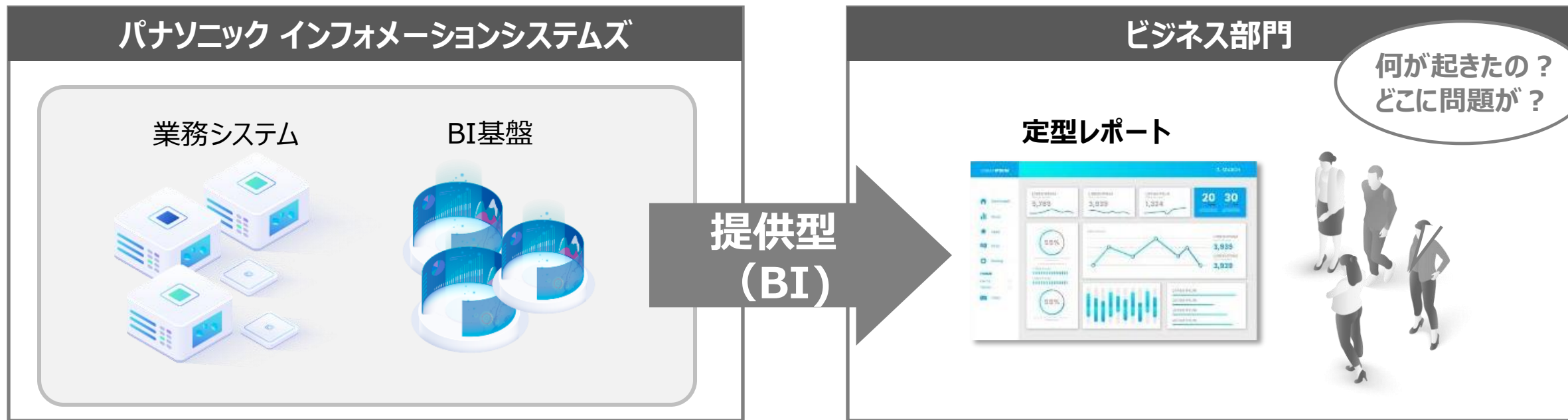
- ✓ 専門家による分析
- ✓ 限定的なデータ活用

DX時代におけるデータ分析・活用

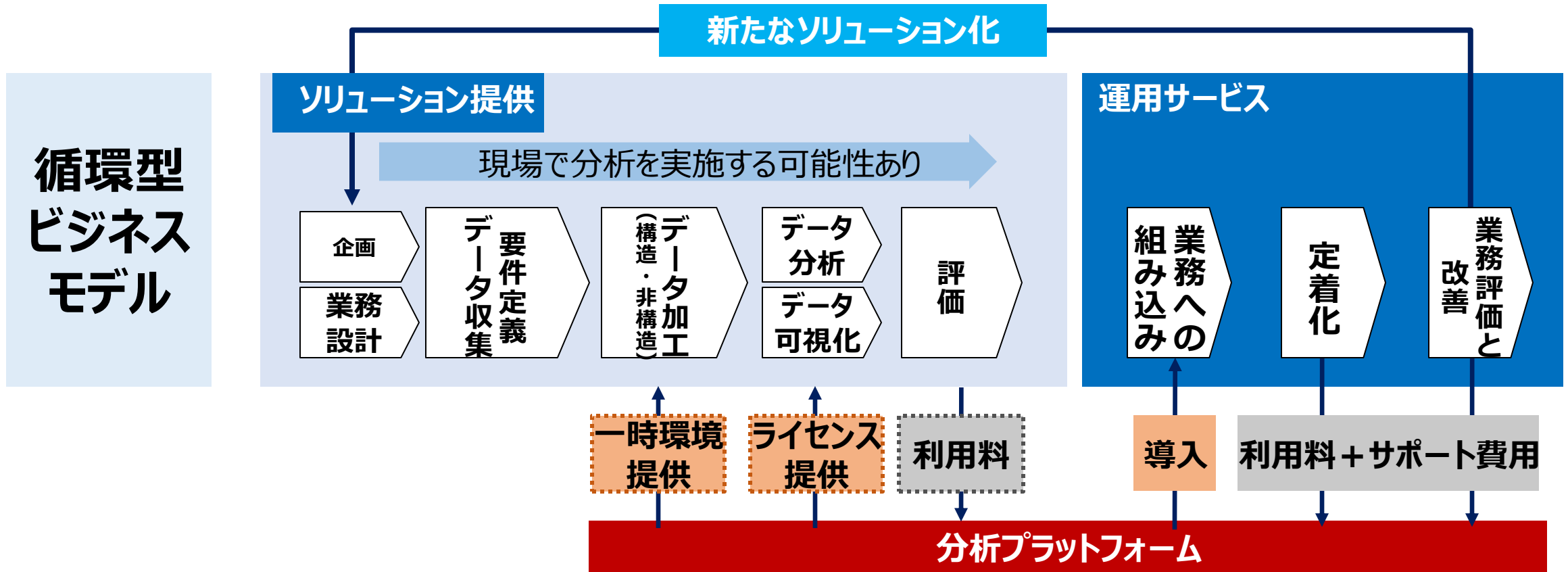


- ✓ 現場による分析（「事業理解」に基づく「データ分析」）
- ✓ 常時データを活用（「分析」と「意思決定」の一体化）

ニーズに沿ったダッシュボードやモデルの提供で、PoCでとどまることも・・・



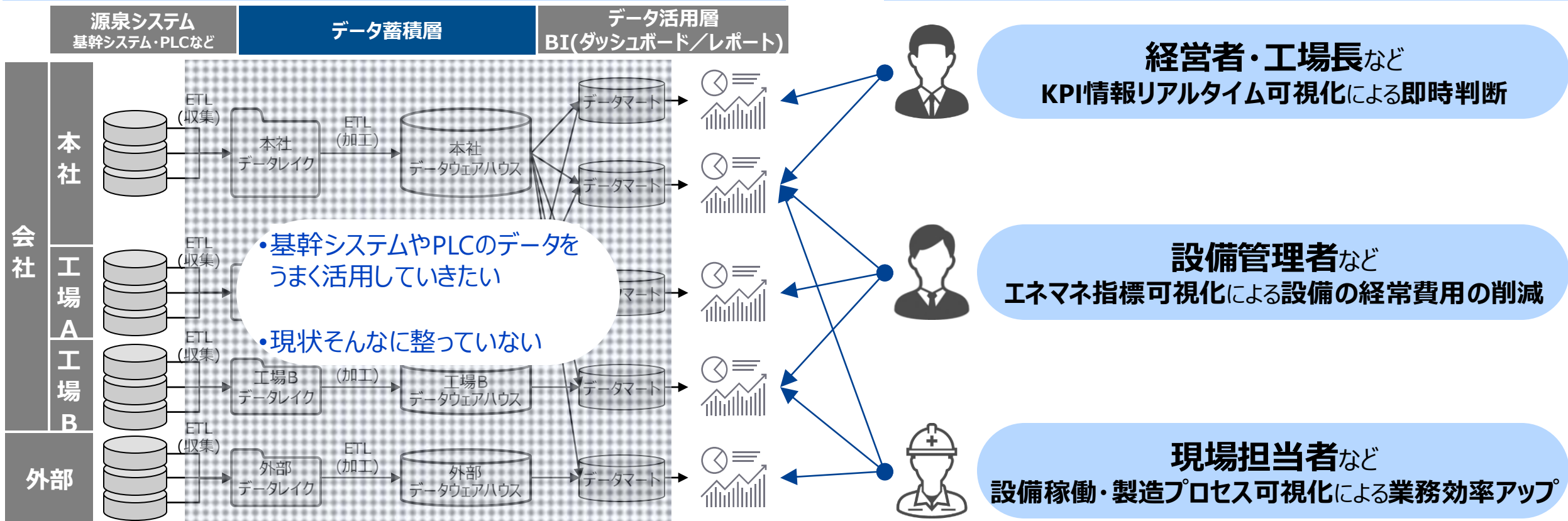
# 分析PFを軸に、ソリューションとサービスをつなげる



- ・ 普段から各自で分析しており、必要なKPI・設備の稼働状況など要件はある程度把握している。
- ・ **データ収集とデータ活用の両立が課題**となると認識し、先方のDX推進メンバーと調整を進めた。

## 現場の設備稼働状況

## 各メンバーがやりたいこと



- ・ 取組の結果：当初目論んでいたデータ活用の姿を達成できず、**失敗**。
- ・ 最大の要因：収集に手間をかけすぎた。**データ活用のためのデータ収集**の意識が希薄となった。

- ・現場担当者と弊社の橋渡しとして**先方社員が旗振り役**を担い、現場のニーズを把握した。
- ・データ収集～現場で必要な要素のと可視化設計～重要KPIの設定まで**包括的に計画を立てて**実行した。



## 現場の方の思い(ヒアリング)

### 工程①

- ・測定データと結果データを合わせて分析したい。
- ・稼働チョコ停は週次・月次サイクルで傾向分析したい。

### 工程②

- ・主要な測定値項目を比較分析したい。
- ・成形条件の履歴を管理したい。

テーマ	取組内容	担当	Q			Q			Q		
			N1月	N2月	N3月	N4月	N5月	N6月	N7月	N8月	N9月
全体	マイルストーン	-				設備改造完了▶本番利用開始▶ プロト提供開始▶					
稼働改善	工程可視化	先方会社	仕様策定		設備改造データ取得			プロトタイプ使用・評価		現場カイゼン UAT	
		パナソニックIS (IoT・分析)	要件整理 現状データ検証		要件確定	画面設計	プロト提供	本番移行	追加対応等		

- ・取組の結果：旗振り役と現場担当者の温度差が大きく、データ可視化BIなどが現場に根付かず、**失敗**。
- ・最大の要因：データ活用業務の**あるべき姿**を示せなかった。現場に**データ活用マインド**を根付かせられなかった。

## データ活用のためのデータ収集 ができなかった

**データ収集はクイックに進め、**  
データ活用の議論に集中すべき。

会社システム日々拡張・変更される。  
データ収集には熟練した技術も必要。

貴社人員での体制構築は**現実的ではない**。

**データ収集IoT+導入サービス**  
による効率的なデータ収集

## データ活用業務のあるべき姿 を示せなかった

現行業務にデータ活用を加えるだけでは、  
業務負荷自体が増加する。  
**適切な形での業務タスク置き換え**が必要。

また、期待する効果を前提として  
**業務プロセス全体の刷新**を  
視野に入れた業務設計が不可欠である。

**ビジネスアナリシス**  
によるデータ活用業務プロセス設計

## 現場にデータ活用マインド を根付かせられなかった

現場の状況に応じて自ら改良を  
加えていかない限り、定着は難しい。

単に提供されたものを使うだけでなく、  
データ活用の改善を**自発的に進めていく**  
**意欲とマインドセットの醸成**が必須。

**伴走支援+分析トレーニング**  
によるデータ活用マインドの醸成

**業務プロセスにデータ活用を融合させ、業務になくてはならない存在へ！**

- パナソニックグループでの多くの失敗を通じて、真にデータドリブンな組織の在り方を明確に定義。
- 豊富な技術力・経験・ノウハウを持った専門家チームが、成果が出るまで徹底的に伴走支援します。

## 初期フェーズ

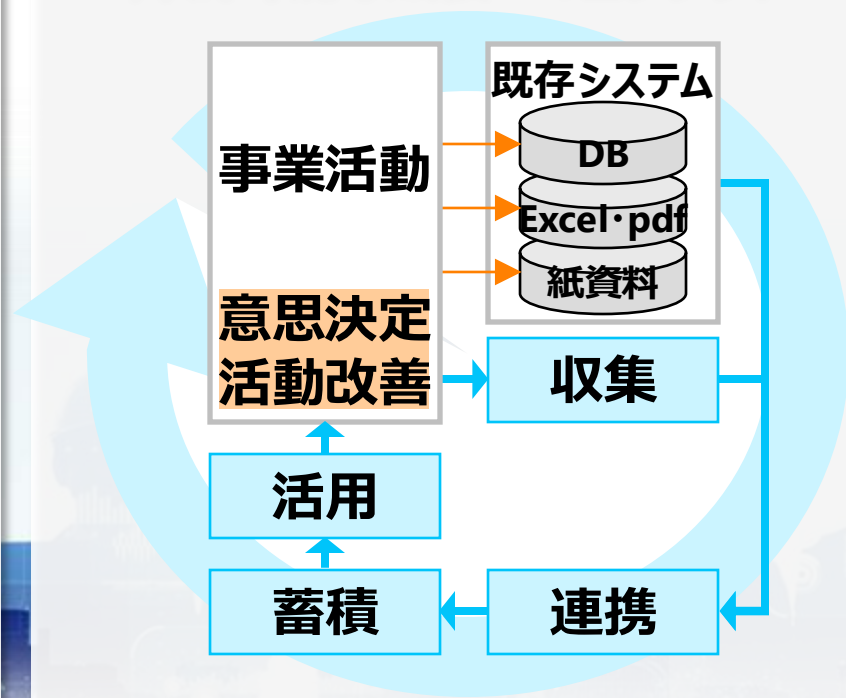
### ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや期待効果をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けたロードマップを描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

## 中期フェーズ

### データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次にフィードバック。
- 持続可能な成長へのエンジン。



## 最終フェーズ

### データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材によるデータ利活用の自走を支援。
- 事業活動を自ら改善していくマインドを醸成。

## データドリブン組織

### データ民主化

誰もがデータを  
使える状態にある

×

### 文化醸成

誰もが自らデータで  
意思決定を行える



## 2.現場伴走型データ分析総合支援サービス ～DataVein～



## データを新たな価値へ

あらゆる事業現場には、まだ活用されていない多くのデータが鉱脈(Vein)のように眠っています。

その未開の可能性を発見し磨き上げることで、ダイヤモンドのように輝きを放つビジネス価値へと変わっていきます。

**DataVein (データヴェイン)** は、現場で働くあなたをはじめとする一人ひとりが**データドリブンな意思決定を実現**できるよう、主体的かつスピーディなデータ活用を支援する**現場伴走型の分析総合支援サービス**です。

# “現場で継続的にデータドリブンな意思決定が行える組織”の実現

データ民主化(誰もがデータを使える状態にある)と文化醸成(誰もが自らデータで意思決定を行える)の両立

## 業務プロセス革新

### Business Process Innovation

ヒアリングやデータに基づき業務を可視化・体系化し、**抜本的な業務変革**の実現に向けたロードマップを策定する。



ビジネスアナリシス



プロセスマイニング



デジタルイズ  
(IoTプラットフォーム導入)

## 意思決定インテリジェンス

### Decision Intelligence

統計解析・機械学習・生成AIなどを駆使し、**意思決定に使い続けられるデータ活用**の仕組みを構築する。



アナリシス  
(統計解析・ダッシュボード化)



マイニング  
(機械学習・パターン発見)



エージェントAI  
生成AI

## 分析活用・自走化支援

### Analytics Empowerment

分析の仕組みを作って終わりにせず、データ分析の研修やコミュニティ活動を通じた**分析文化の定着**を支援する。



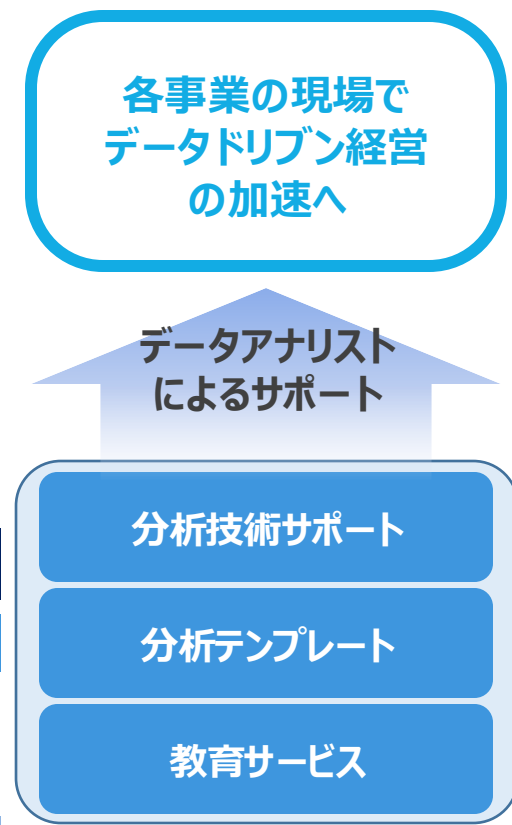
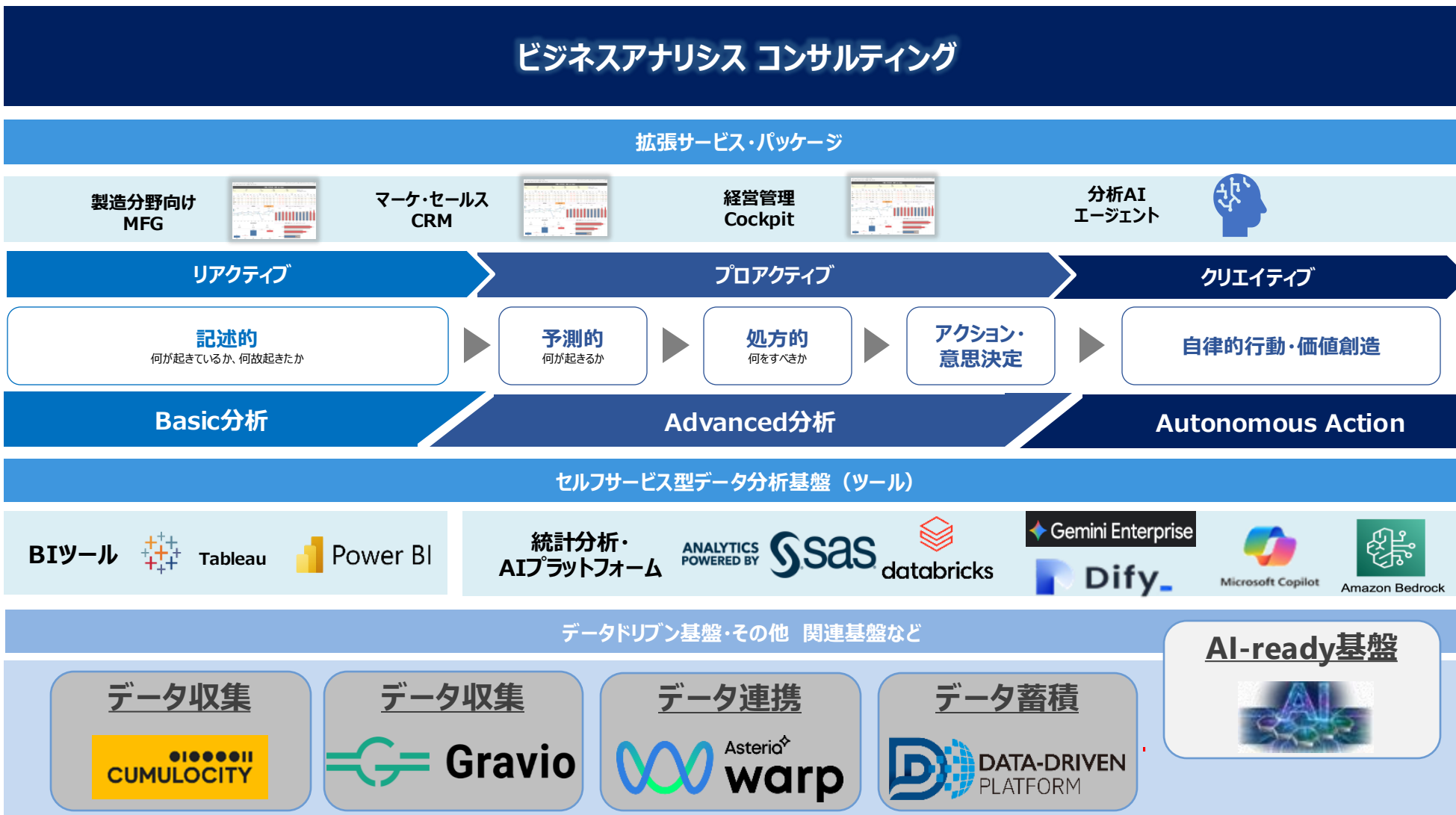
ツールレクチャー・  
分析トレーニング



コミュニティ構築サポート



イベント開催サポート



※BI/AIツールは、パナソニックグループでの一例です。  
 ※AI-ready基盤は、仮称です。

## ビジネスアナリシス×データアナリシスで各事業会社の販売実績・課題を一元管理

PJの流れ

### 顧客情報



### 顧客会社

総合商社 A社  
(アパレル、プロダクト事業など  
複数事業を展開)

### 特徴

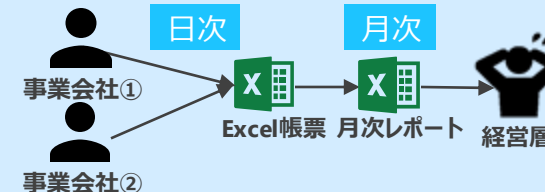
グループ社数10社を  
グローバルに展開しており  
ホールディングス制の会社構成

### 方針

中長期経営計画に基づき  
データドリブン経営の実現に向け、  
基盤の整備や**社内の組織を超えたデータの横串連携**  
により、さらなる**データ活用・価値創出**を目指す。

### 課題

親会社の経営層が各事業会社の販売進捗を**リアルタイムに把握できず、ハンド集計・分析を介したデータを確認**しており、  
迅速かつ正確な戦略見直し等ができない状態。



### DataVein



#### ビジネスアナリシス

**1.ロードマップ策定**  
組織方針と策定したロードマップを踏まえ、優先すべきテーマの決定

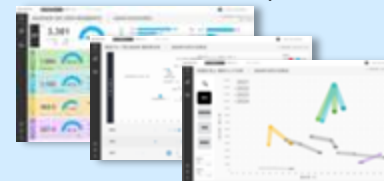


**2.既存業務プロセスの見える化**  
業務プロセス図を用いて現状とあるべき姿のギャップを調査



#### アナリシス (統計解析・ダッシュボード化)

**3.データ分析環境の構築**  
課題を解消するためのBIの要件整理とプロト画面開発 (5画面開発)



**4.フィードバック改善**  
プロトBIの開発より要件を洗い出し、BIの改善



### 改善効果

- ・事業会社担当者の作業時間総計50時間/月の削減
- ・日次で販売進捗・課題の深堀分析により**課題把握が標準化**



3  
カ  
月

分析利用+レクチャーを経て、イベントで他部門に共有。組織活性化・分析文化醸成を促進。

## 意思決定インテリジェンス × 分析活用・自走化支援 事例

**アナリシス**  
(統計解析・ダッシュボード化)

**マイニング**  
(機械学習・パターン発見)



ツールレクチャー・  
分析トレーニング



イベント開催サポート



利用部門担当者にデータ分析イベントへ  
登壇いただき、直接語ってもらう。

## 分析活用・自走化支援 実績

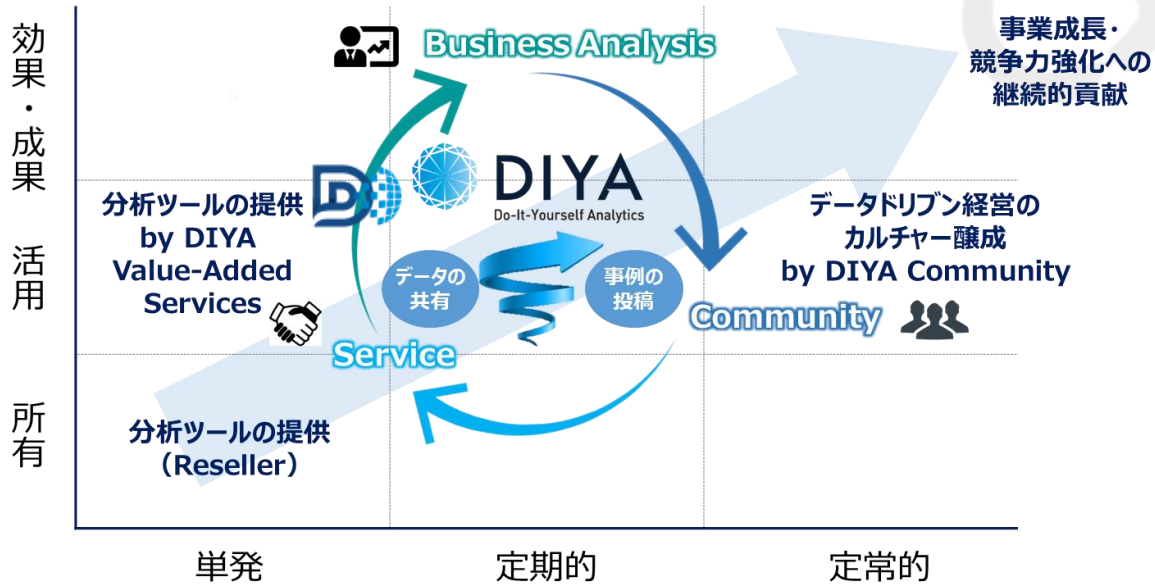
イベント参加者数	延べ 6,000 名以上
コミュニティ参加者数	延べ 8,000 名以上
コミュニティ内で議論された分析課題件数	1,000 件以上



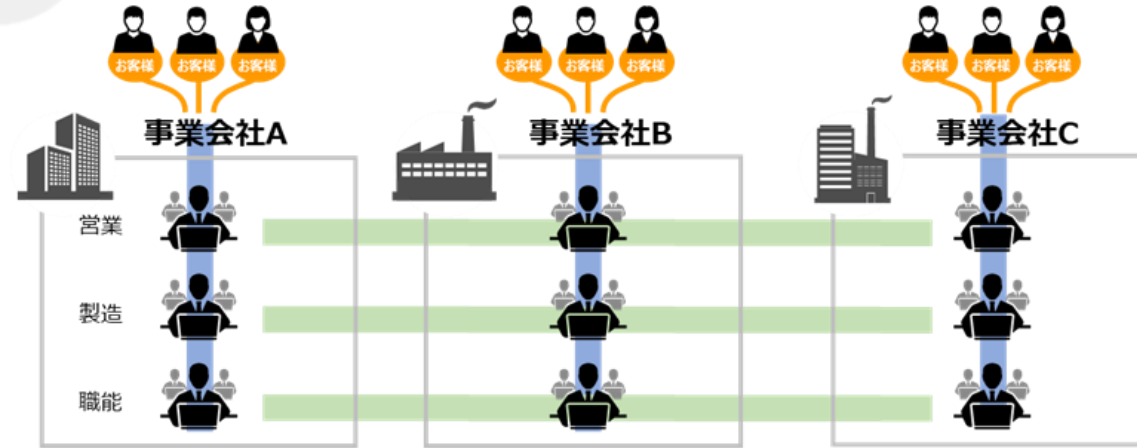
パナソニックグループ内 分析イベントにて

## 利用部門の価値向上へ

## 価値あるデータでつなぐ



事業会社とお客様をつなぐ  
(価値の進化)



グループの職能をつなぐ  
(事例の横展開)

## DIYAサービス 利用者数



※DIYAは、Panasonicグループ内向けサービス名称です。

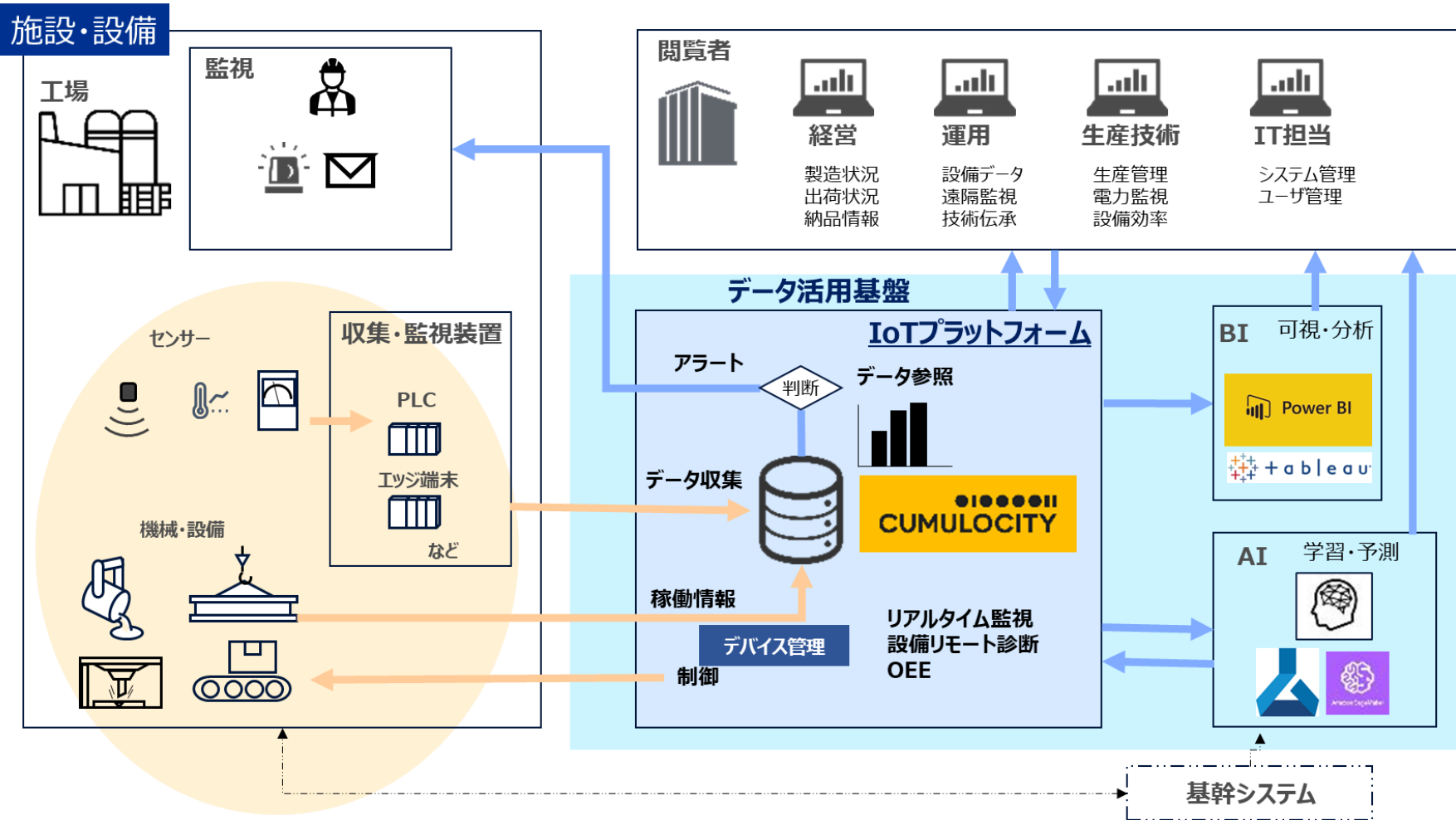
ビジネス部門の価値

効果・成果  
活用  
所有

## 3. SCM・製造データ活用事例

Cumulocityにより、クイックに製造機器のIoTデータを収集・蓄積。  
 中長期データや計画データはDD基盤（AWS）にて統合し、BI/AIで出力。

収集のみならず、制御や監視も可能



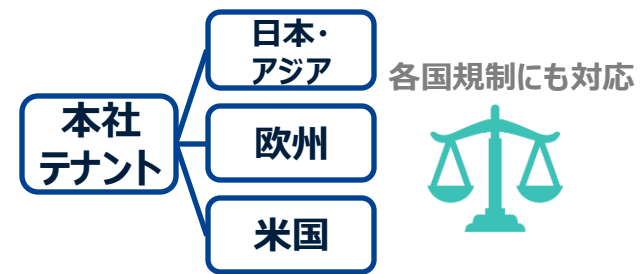
## CUMULOCITY SaaS

**Start Small Scale Fast**

- すぐに始めて、柔軟にスケール
- 豊富なウィジェット・コネクタで手軽に設備をつないで見える化



- グローバルテナントで国際展開





**Panasonic**